

資料2

# JAXA航空プログラムグループにおける プロジェクト実施体制及び人材育成について

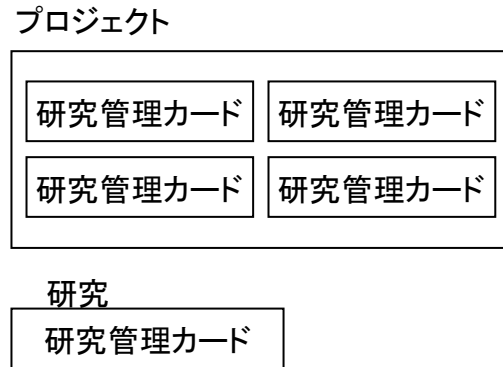
第16回航空科学技術委員会資料

平成18年5月22日

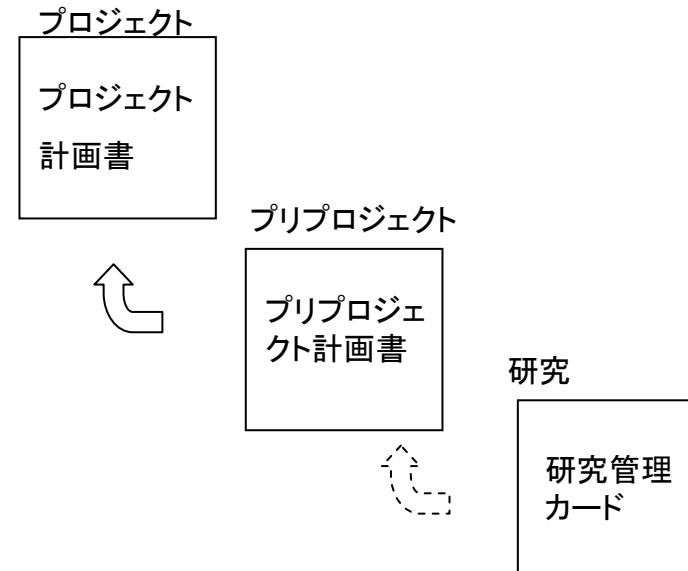
宇宙航空研究開発機構

# JAXA航空プログラムグループのプロジェクト管理について

## 従来の管理方法



## 現在の管理方法



## 現在の各事業の分類

### ○プロジェクト

- ・特定の目的及び使命に基づき実施され、かつその目的限りで完結する事業で、概念段階以降の管理要求(システムエンジニアリング管理、コンフィギュレーション管理、システム安全管理、信頼性・品質管理、リスクマネジメント)が適用されるもの。
- ・但し、管理要求は、プロジェクトの目的、規模、TRLに応じてテーラリングされて適用されるものとする。
- ・QCD(品質、コスト、納期)が明確なもの。

### ○プリプロジェクト

- ・プロジェクト移行前段階にあり、2年程度の準備期間の後、プロジェクトとしての提案を見込んでいる事業。

### ○研究

- ・将来的にプリプロジェクト化を目指すことを意識した航空科学技術に関する目的志向型の研究。
- ・政府関係諸機関、航空運航事業者及び航空機等製造事業者等への技術協力、ニーズ対応。

# 航空PGプロジェクト実施体制

統括リーダー

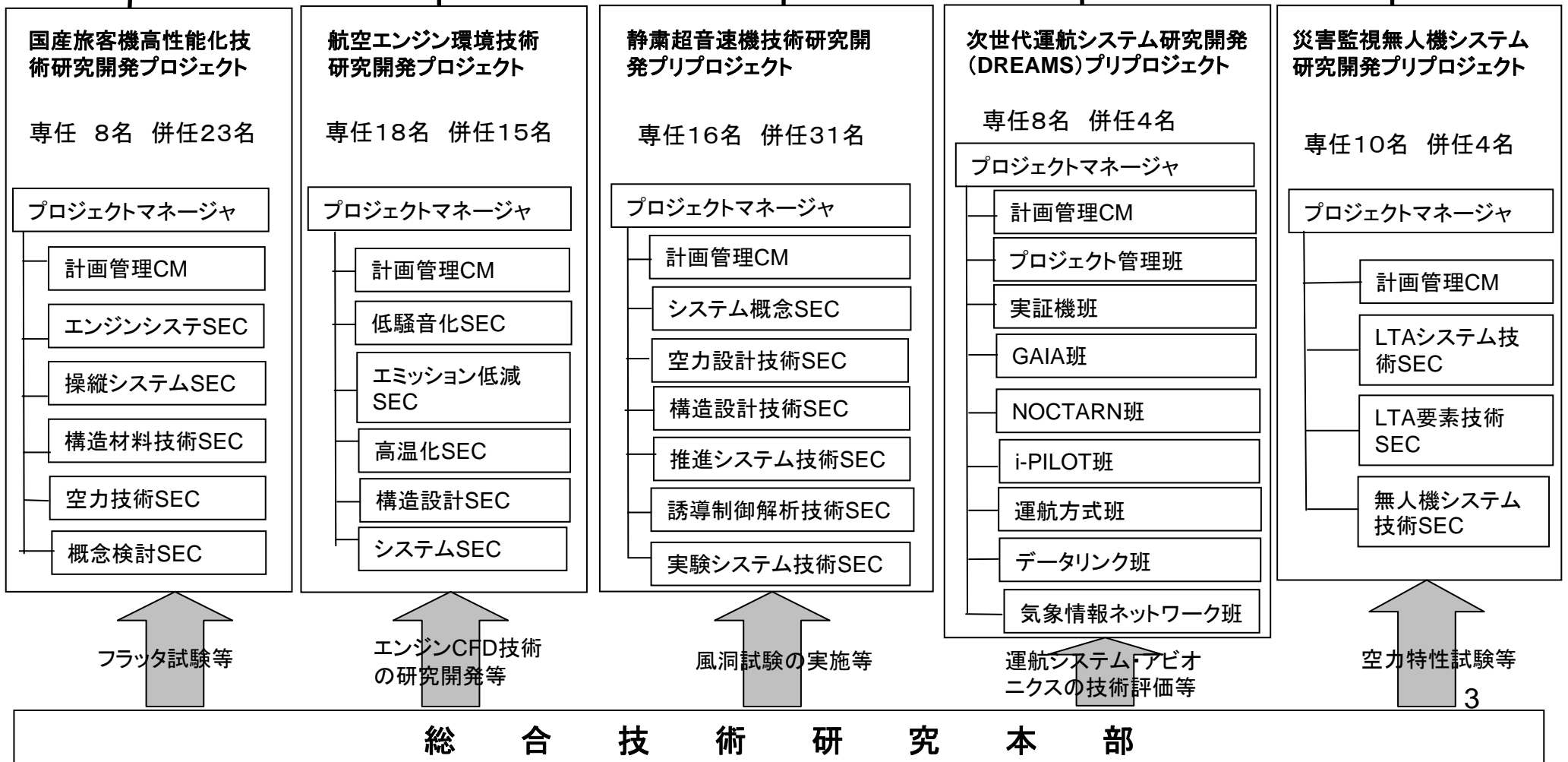
航空PD

航空プログラムSE室

企画推進室

安全・品質保証室

※ PG: プログラムグループ  
 PD: プログラムディレクタ  
 SE: システムズエンジニアリング  
 CM: チーフマネージャ  
 SEC: セクション



# 航空プログラムグループプロジェクト 実施体制における役割について

## 航空プログラムディレクタ

統括リーダーを補佐し、その命を受け、航空機の開発、利用等に関する技術の研究開発及びそれらの実証に関する業務を総括する。

## 航空プログラム システムズエンジニアリング※室

航空プログラムにおけるSEプロセスの検討・推進を行う。

## 企画推進室

事業計画管理、リスク管理等を行う。

## 安全・品質保証室

品質マネジメントシステムの運用及びプロジェクト等への支援、システム安全審査の支援等を行う。

## プロジェクトマネージャ

プロジェクトチームを統括し、プロジェクトを確実に遂行する責任を有する。

※システムズエンジニアリング(SE):

「ミッション要求を達成するためのシステムの解析と機能分析を行い、その設計・製作・運用全体を通じて、課題を定義し、分析、評価して性能、コスト、スケジュール、リスクに対して妥当なシステムを得る工学的プロセス」など。

# JAXAの採用制度について

## 新規採用

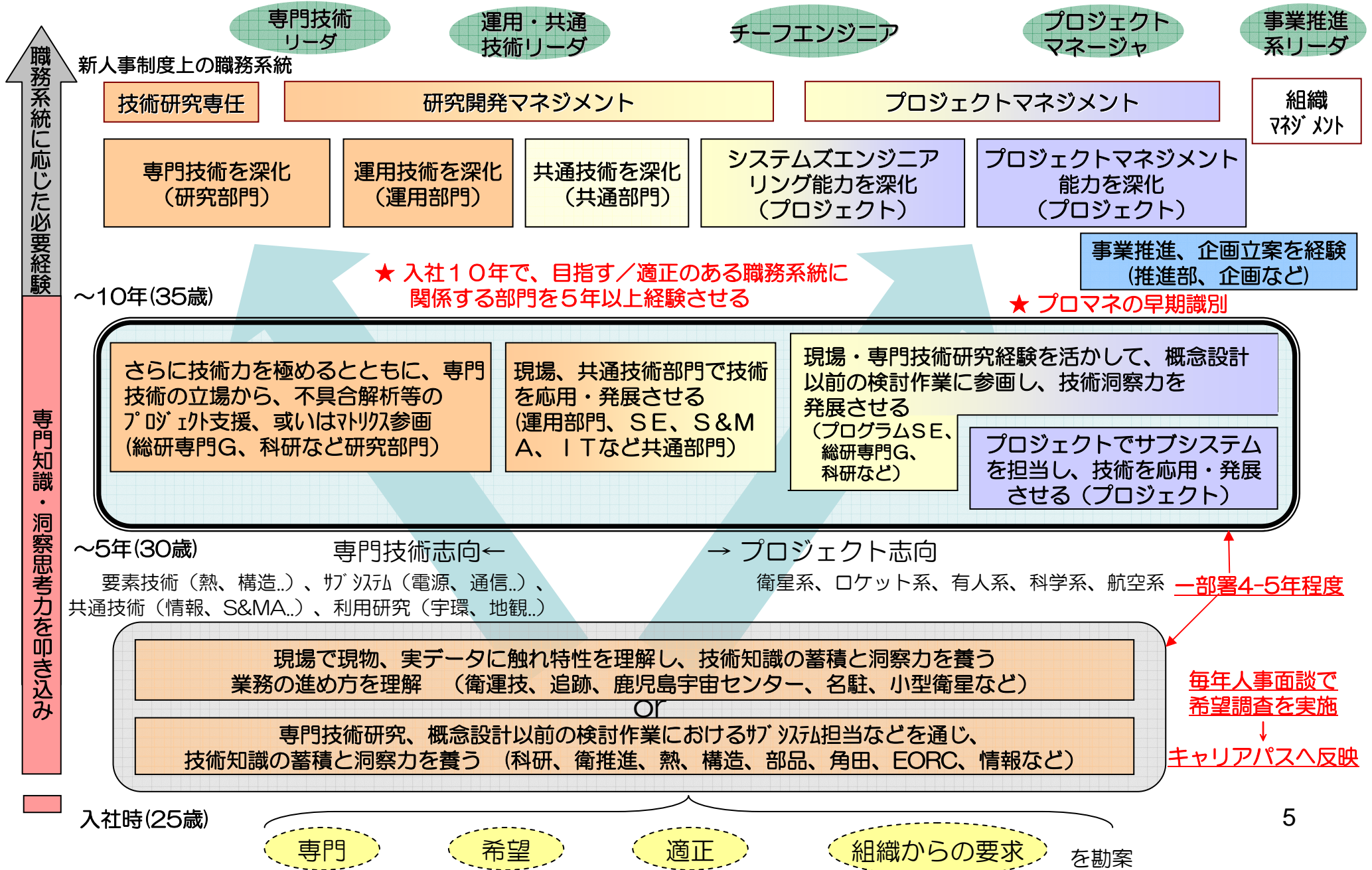
## 経験者採用

長期に亘りJAXAの業務に従事し、今後展開する宇宙航空分野における研究開発に貢献することを前提として、宇宙航空分野の経験者に限定せず、多種多様な分野から人材を採用する。

## 宇宙航空プロジェクト研究員

JAXAが実施するプロジェクトの効果的効率的推進のため、専門知識を有する若手研究者の特定の分野におけるプロジェクトへの参加を求め、当該プロジェクトを研究面から支援し、併せて外部研究者との交流、研究情報の交換を促進し、宇宙航空関連研究者の裾野の拡大を図ることを目的とする。博士号取得者相当を対象とした任期付採用制度。

# 将来の人材像とキャリアパス（概念図）



# PM／SE育成の基本方針

## ● PM／SE育成の必要性・目標

- 確実なミッションサクセス、長期ビジョンの実現のためJAXAのPM／SE能力向上を図る
- 特に、プロジェクトの成否は、プロジェクトマネージャーの力量に大きく左右されることに鑑み、JAXAの将来を担うプロジェクトマネージャの育成に努める必要がある

## ● PM／SE育成の課題

- JAXA業務実施に係る標準的なPM・SE手法を確立し、これを確実に実施するためには、JAXA職員全体の能力向上が必要
- プロジェクトマネージャの体系的な育成が必要

## ● PM／SE研修体系

- 以上を踏まえ、当面(5年～10年程度)は、職員への普及啓発・能力向上を重点的に行ない、JAXA業務実施に係る標準的なPM・SE手法の確立を図る。
- また、将来的には、一定レベルのPM、SEスキルを職員が維持することを奨励するとともに、プロジェクトマネージャを体系的に育成する。
- 更に、将来、日本におけるPM・SEの実践に係る中核的役割を担うことを視野に入れ、大学等の教育研究機関、国際的なフォーラムとの連携を図る。

# JAXA航空分野の人材交流について

	区分	人数	大学・企業数等	
学生の受け入れ	連携大学院生	8名	5大学	
	技術研修生	学部生	49名	16大学
		大学院生	42名	15大学
	インターンシップ研修生（短期）	6名	3大学	
	外国人研修生 ・外国人技術研修生	4名	3ヶ国	
企業・官庁との交流	民間企業等からの出向者	10名	9社	
	官庁からの出向者	1名	国土交通省	
	JAXAから外部機関への出向者	1名	新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)	

※ 学生の受け入れは平成17年度実績、企業・官庁との交流は平成18年4月1日現在